



市内の数え年100歳以上の皆さんを市長が訪問し、ご長寿のお祝いをしました。市内最高齢は財田町財田上の加賀政雄さん（105歳）。加賀さんは好き嫌いがなく、子どもの好きなカレーやスパゲッティなども好んで食べるとのこと。市長が筆談で「暑い日が続きますが、ますますお元気でご長寿ください」と、伝えると、加賀さんは「ありがとうございます。未永くよろしく」と市長の手を力強く握りしめました。

第10回仁尾八朔人形まつりが仁尾町総合文化会館周辺で開催されました。このイベントは、3月3日が仁尾城主の命日となるため、八朔の日（旧暦8月1日）に男子の節句と女子のひな祭りをお祝いするもので、子どもたちの健やかな成長を願って、人形や歴史上の名場面のジオラマを展示。地元ボランティアの皆さんの解説もあり、多くの家族連れが足を止めて見入っていました。



麻小学校3、4年生の秋の遠足で市内を1周しました。北から南へ市内をまわることによって、三豊市全体の地形や特徴を見学。香川用水記念公園では、香川用水の歴史やなぜ

香川県は水不足になることが多いのかなどを、模型や映像で学びました。

みとよHOT ほっとNEWS

Web版は市ホームページ
<http://www.city.mitoyo.lg.jp/> で毎日更新中!!

和光中学校の生徒が車いす2台を三豊市社会福祉協議会に寄贈しました。同校では毎月10~20日を牛乳パックとプルタブの回収日とし、町内の皆さんの協力も得ながら回収しています。また、運動会ではチャリティーバザーを実施しました。集まったお金は福祉に役立てたいと、車いすを購入し寄贈しました。



桑山小学校で演劇鑑賞会があり、『民話芸術座』（東京）の皆さんが訪れました。演劇は「雪女」。おもしろおかしく演じるだけでなく情感あふれる演技で、人を思いやるやさしい心を表現。児童は目の前の演劇に見入っていました。



10月は、市内各地の神社で秋祭りがありました。仁尾町の大將軍神社では家之浦三頭獅子舞（県無形民俗文化財）が奉納され、また、賀茂神社ではお船さんが町内巡幸行列を行いました。





10/7

豊中町図書館前で、第3回とよなか秋のまつりが開催され、町内13台の太鼓台が集結しました。オープニングイベントの「塩飽神面太鼓 演舞」が終わると、いよいよ太鼓台の登場。「せーのせっ！」のかけ声でタイミングを合わせて力強くかきあげると、観客からは拍手がわき起こりました。満員の会場は、かき手といっしょになって、終始熱気に満ちていました。



10/15

上高瀬小学校の5、6年生が実習田でもち米の稲刈りをしました。生徒は、校長先生やPTAの皆さんの指導のもと稲刈りをして、刈った稲はひもで束にして、はでかけにしました。収穫したもち米で、12月に全校もちつき大会を行います。(24ページに関連記事)



10/12

松崎幼稚園の園児たちが未就園児を招いてカレーパーティーをしました。園で収穫したジャガイモやたまねぎを、一つずつ丁寧に皮をむいて材料を準備しました。お鍋でくつくとカレーが出来るまで、みんなで遊戯、ペコペコのおなかに、おいしいカレーは最高のごちそうでした。



9/26



下高瀬と吉津幼稚園の園児が、それぞれ交通安全キャンペーンを行いました。鼓笛パレードを行ったあと、見守るお母さんや警察、交通指導員の皆さんに、「ぼくたち、わたしたちは、とびだしはしません！」と、元気いっぱい声を合わせて誓いました。キャンペーンでは、手作りマスコットをドライバーに手渡し、安全運転を呼びかけました。



10/21



第6回やまもと爽郷まつりが、山本ふれあい公園で開催されました。秋のさわやかな空の下、22連が参加したよさこい踊りや大じゃんけん大会、仁尾竜翔太鼓演舞、町内の獅子舞の共演など、さまざまなイベントが行われました。また、山本支所前では初の試みとして、よさこいの歩き踊りが行われ、ステージとは一味違ったパフォーマンスを披露しました。